

提案者名:

(第7号様式)

機能要件対応表

* 「対応」欄は、対応状況に応じて下記のとおり○、△、×を記載する

○：提案するシステムに搭載されている。

△：提案するシステムに現時点では搭載されていないが、今後リリースされる予定である。

またはGIS等のアプリケーションの活用により同等の業務を行うことを提案できる。

×：対応不可

番号	項目	内容	対応
1	ログイン制御機能		
		ログイン画面において、システム管理者からの通知等を掲示できること。	
		システムの利用時にログインID とパスワードを要求し、システム利用者の区分に応じて利用可能な機能、および閲覧可能なデータを制限できること。	
		ログインID は利用者ごとに設定できること。	
		システム利用者の区分に応じて、利用可能な機能、データの種類、データの編集可否、データの利用範囲を制限できること。利用者に応じて複数のエリアを利用できること。	
		公開クラウドにおいては、必要に応じて、パスワード等により不正ログイン防止の対策を講じることができること。	
		システム管理者が、利用者ごとに閲覧・編集等の権限を付与できること。	
		利用者情報は、年度初めにログインID及びパスワードをリセットし、別途発注者から提供される利用者情報のみを更新し、利用可能とする。	
2	基本機能および地図操作機能		
		管理機能として、メニューに応じて必要な機能や表示データの切り替えができること。	
		地図表示機能として、主題図の表示/非表示、重ね合わせ表示、拡大・縮小・移動ができること。	
		地図表示機能として、ベクタデータの色等のスタイルの変更、表示縮尺の変更、選択の可否、ラベルの表示/非表示、ラベルの表示縮尺の変更ができること。ラベルは同時に複数表示できること。	
		地図表示機能として、背景図の正射写真図、衛星画像、地理院タイル等の表示ができること。	
		属性表示機能として、指定した図形の属性情報および属性一覧の情報を表示できること。あわせて、登録された画像・PDF等の任意のファイルの閲覧ができること。	
		作図機能として、新規レイヤの作成や、編集権限のあるデータに対して図形・属性・関連ファイルの追加・更新・削除を可能とし、指定した利用者との情報共有ができること。	
		計測機能として、地図上の任意地点間の距離、任意エリアの面積が計測できること。また、計測結果を出力できること。	
		検索機能として、属性情報で検索し、地図の移動ができること。	

提案者名:

番号	項目	内容	対応
		検索機能として、選択もしくは任意描画した図形やそのバッファに対して地理的な検索ができること。	
		印刷機能として、地図上の主題図、背景図の表示状態、表示範囲により図面出力ができること。また、印刷時に背景地図等の承認番号を自動的に表示できること。	
		出力機能として、csv形式・shape形式等で自由にデータを出力できること。	
		取込機能として、GPSや地籍調査、航空レーザ等で計測したデータを取り込み、システム上に表示できること。	
3	森林簿・森林計画図管理機能		
		森林計画図を主題図として表示し、森林簿との相互検索ができること。	
		森林計画図と森林簿が多対多の関係でも利用できること。	
		森林計画図を地図上で選択し、森林簿情報を表示できること。1つの計画図に対し複数森林簿情報が存在する場合は複数表示とする。森林簿情報がコードの場合はコードとコードに対応する文字をあわせて表示できること。検索結果の森林計画図を別レイヤとして保存できること。	
		森林簿の任意項目による検索と、検索結果に対応する森林計画図を地図上で検索表示できること。森林簿情報がコードの場合、コードとコードに対応する文字をあわせて表示できること。検索結果の森林計画図を別レイヤとして保存できること。	
		森林簿の検索結果を対象として、森林簿様式の出力、森林資源構成表の出力、csv形式の出力ができること。	
		森林簿の検索結果の保存、読み込みができること。	
		過年度の森林計画図および森林簿の管理、表示ができること。	
		森林資源の構成など、国や県の統計情報の集計ができること。	
4	森林簿・森林計画図編成機能		
		森林計画図及び森林簿について、随時更新が可能なものと一定の期間ごとに確定したものを別に管理できること。	
		森林計画図及び森林簿の適時修正ができること。修正は更新権限を持つ管理者、または、管理者が更新権限を与えた利用者に限定できること。	
		市町村や林業事業者等の参加者が森林計画図および森林簿の修正依頼を登録できること。	
		上記の森林計画図及び森林簿の修正依頼を管理者が確認し、森林計画図及び森林簿に修正内容を反映できること。	

提案者名:

番号	項目	内容	対応
		定期の確定処理として、森林簿の林齢を加算の上、齢級、樹高、材積、成長量を加算後の林齢にあわせて更新する対応を可能とし、樹高、材積、成長量は自動計算により取得できること。	
		定期の確定処理として、随時更新が可能な森林計画図及び森林簿を確定版の森林計画図及び森林簿として複製し、前回の確定版の保存および更新ができること。	
		他の図形を用いて、複数の地番図形を自動でくりぬいたり（クリップ）、統合したり（マージ）できること。	
5	森林異動情報管理機能		
		森林計画図および森林簿の追加、削除に際し、転入出の別及び転入前または転出後の土地の用途情報を記録できること。	
		転入出の記録に対し任意項目による検索ができ、検索結果の一覧を表示し出力できること。	
6	森林経営計画作成管理機能		
		森林簿または森林計画図から複数の林小班を選択して森林経営計画を作成できること。	
		対象森林の森林計画図、森林簿（森林経営計画の作成に必要な情報に限定する）および市町村森林整備計画におけるゾーニングの情報等の取得ができること。	
		対象森林として取得した森林計画図および森林簿の情報を、現地の状況に合わせて適宜修正できること。	
		作成された計画の内容が、市町村森林整備計画に照らし適切であるかの判断ができること。	
		計画を作成した箇所の図形情報および属性情報の表示ができること。	
		森林経営計画の作成者が、システム上で認定権者（県または市町村）に森林経営計画を提出できること。	
		認定権者（県または市町村）が、システム上で作成者から提出された森林経営計画を受け取り、認定基準判定を自動的に実行できること。ただし、認定基準判定の内容は、定量的に判断可能な内容に限るものとする。	
		認定基準を市町村ごとに任意に変更できること。	
		利用者が森林経営計画の施業履歴の追加・修正・削除ができること。	
		認定を受けた森林経営計画の情報をデータベースとして管理できること。	
		森林経営計画制度運営要領に基づき、認定簿、実行簿、事業簿の作成ができること。	

提案者名:

番号	項目	内容	対応
		森林経営計画として認定された森林区域は、システム上で閲覧でき、システム管理者が更新権限を与えた利用者により追加・修正・削除できること。	
		県内で認定されている計画の一覧について出力できること。	
		森林経営計画の情報を、条件指定により検索できること。	
		認定を受けた森林経営計画の図形情報をshape形式で出力できること。	
		「森林簿・森林計画図管理機能」、「森林簿・森林計画図編成機能」、「市町村森林整備計画管理機能」、「伐採および伐採後の造林の届出書（伐採届）管理機能」との連携ができること。	
7	森林計画図公開機能		
		森林計画図及び空中写真、一部の森林簿情報（以下、「公開用情報」という）を公開するため、internet接続系のシステムにおいて、一般の県民が容易な接続方法により、公開用情報を閲覧できること。（なお、公開の方法は、ホームページを別途構築する方法等でも構わない。）	
		印刷する際は、印刷状態をあらかじめ画面上で確認できること。また、凡例や方位シンボルを追加することができ、印刷する地図縮尺を指定できること。	

提案者名:

番号	項目	内容	対応
----	----	----	----

以下の機能については、本業務における必須の機能要件としないが、今後の機能拡充における提案を求めるもの。

* 「対応」欄は、対応状況に応じて下記のとおり○、△、×を記載する

○：提案するシステムに搭載されている。

△：提案するシステムに現時点では搭載されていないが、今後リリースされる予定である。

またはGIS等のアプリケーションの活用により同等の業務を行うことを提案できる。

×：対応不可

番号	項目	内容	対応
8	施業履歴管理機能		
9	林業・作業道管理機能		
10	保安林管理機能		
11	林地開発管理機能		
12	治山台帳管理機能		
13	山地災害危険地区管理機能		
14	県営林管理機能		
15	造林補助管理機能		
16	山地災害危険地区管理機能		
17	資源情報活用提案機能（仮称）		
18	伐採及び伐採後の造林の届出管理機能		
19	林地台帳管理機能		
20	森林の土地の所有者届出管理機能		
21	需給情報共有機能		